

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料減免の対象となる申請書

記入上の留意点

私は貴校に対し、大学等における修学の支援に関する

10月1日以降の日付を記入ください。

◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校において減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）を通じ、高知工業高等専門学校が機構の保有する私の授業料等減免の申請を行います。

● 本科生は、4年次進級（編入学）年月
● 専攻科生は、専攻科入学年月

こと同意

●本科生は、4年次進級（編入学）年月
●専攻科生は、専攻科入学年月
を記入ください。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。
こと。)

10月時点の学年・所属を記入ください。

国立高専機構における授業料免除制度への申請希望	
(1) 申請希望	(あり ・ なし)
<対象>	
日本学生支援機構給付奨学金の認定区分が【第Ⅱ免除区分C】を満たす場合に併用申請することができます。	
【免除区分B：（対象）本科4・5年生、専攻科1年生】 特別な事情（学資負担者の死亡や失職、風水害・新授業料の納付が困難であること）	
【免除区分C：（対象）専攻科2年生】 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ	
<注意事項>	
・ 別途、所得証明書等関係書類を提出する必要があります。	
・ 新制度による授業料減免額により、高専機構における授業料免除制度の対象とならない場合があります。	

【記入必須】
申請希望“あり”・“なし”いずれか○をつけて
ください。

●免除区分Aのみ申請する場合
⇒ 申請希望 “なし”

●免除区分A + B又はC の併用申請する場合
⇒ 申請希望 “あり”

申請者	以下（２）～（４）について、（１）で“あり”に○をつけた方のみ回答してください。	
	（２）学期区分 ☐ 前期 ☐ 後期	
	（３）申請区分 ☐ 災害等による特別な理由による申請 ☐ 経済的な理由による申請	
	学校種別欄	第三項による申請
保護者	（４）申請理由 ●免除区分B ⇒災害等による特別な理由による申請 ●免除区分C ⇒経済的な理由による申請	
	※各種証明書類等は、各校が定める提出期限までに学生課窓口へ提出してください。	
保護者（主たる学資負担者）（申請者との続柄） 氏名（自署）		

【記入必須】
必ず、保護者の方が署名ください。